

〈 ねらい 〉

体育科の学習では、跳び箱やマット運動、鉄棒などの様々な運動において、運動ができるために大切なポイントがあり、ポイントを意識して練習することで、運動を上手に行うことができるようになります。しかし、運動中に、自分の体がどのように動いているのか、自分では見ることはできません。そこで、タブレットの録画機能を使うことで、自分が運動している様子を客観的に確認することができるようになります。それにより、子どもたちが自らの課題を意識しながら練習することができ、様々な運動をよりよくできるようになるのではないかと考えました。

〈 活動の様子 〉

12月に行った「とび箱運動」の単元では、練習の中で、子どもたちが跳び箱を跳んでいる様子を互いにタブレットで撮影する場面を設けました。映像を自分で確認するだけでなく、グループで見合って、できていることや次に気を付けることなどを話し合いました。自分で自分の様子を振り返ることに加え、「踏み切りが上手にできているよ」「手を着く位置を、もう少し前にした方がいいよ」と友達からアドバイスを受けることで、自分の課題をしっかりと認識して、意欲的に練習に取り組むことができました。タブレットを活用した練習をすることで、多くの子どもたちが、「跳び方が上達した」と感じるできていました。

授業を通して、ICTの活用は、様々な問題を解決するための力を高めることができると感じられました。今後も子ども一人一人の力を伸ばすために有効なICTの活用方法を検討していきたいと思えます。



【跳んでいるところを撮影する様子】



【映像を見て話し合う様子】